

広報 たかつき

編集・発行
市長公室広報広聴室広報課
(大阪府高槻市桃園町2番1号)



「いましる 大王の杜」予想を上回る来場者(6・7面)

紙面(あ)んない

- 2・3面 施政方針大綱の概要
- 4・5面 JR高槻駅南人工デッキ供用開始、お米に関する市民意識調査まとまるなど
- 6・7面 歴史館が企画展を開催など
- 8～11面 お知らせ、傍聴できます、求人、催し、スポーツなど
- 12面 フォトニュース、市広報番組案内など

人口 357,374人(-13)
世帯数 154,470世帯(+19)
(1月末現在(前月比))

市の手続きや制度、催しなどは
高槻市コールセンター
TEL 072・674・7111
午前8時～午後9時
(年中無休)

子育て支援策を大胆に拡充



子どもたちの笑顔があふれるまちへ

住みやすさナンバーワンを目指す

平成24年度 施政方針を发表

本市の財政状況は、国内の経済状況の低迷に加え、少子高齢化の進展および生産年齢人口の減少などによる税収の減少、社会保障費の増加などにより、一段と厳しくなる見込みです。

はじめに

こうした中で、国においては、社会保障・税一体改革の議論が進められており、この見直しは、今後の市民生活にとっても影響を及ぼすものと思われま



施政方針大綱を表明する濱田剛史市長(3月1日)

本市の財政状況は、国内の経済状況の低迷に加え、少子高齢化の進展および生産年齢人口の減少などによる税収の減少、社会保障費の増加などにより、一段と厳しくなる見込みです。

「住みやすさナンバーワン」を目標として、高槻の存在感を高め、市民の皆さんに何を求めているのかをしっかりと把握し、市民にとっての利益を第一に考えていかなければならないと考えています。

東日本大震災の発生から、間もなく1年が経ちます。私が現地で直接目にした甚大な被害の記憶、自然災害の恐ろしさは、今でも目に焼きついています。あのような災害が本市で起こったときに、我々はこのように対応すべきか、市民の皆さんは市に何を求めるかなどといった、現地で瞬時に思い描いた危機意識を決して忘れることなく、「安全・安心のまちづくり」を一層推進していきます。

施政方針大綱

2・3面へ続く

自主性・自立性を一層高めるチャンスである一方、その責任も大きくなります。しかし、本市には中核市に移行した際に移譲された権限を活用して、特色あるまちづくりに取り組んできた実績があります。私はこの実績を糧に、今回の権限移譲にも積極的に取り組み、創意工夫によるまちづくりを進めていきます。

「関西の中央都市」
高槻の存在感向上へ
スピード感を持って
施策を実現